

# 時代要因（健康施策や生活環境）

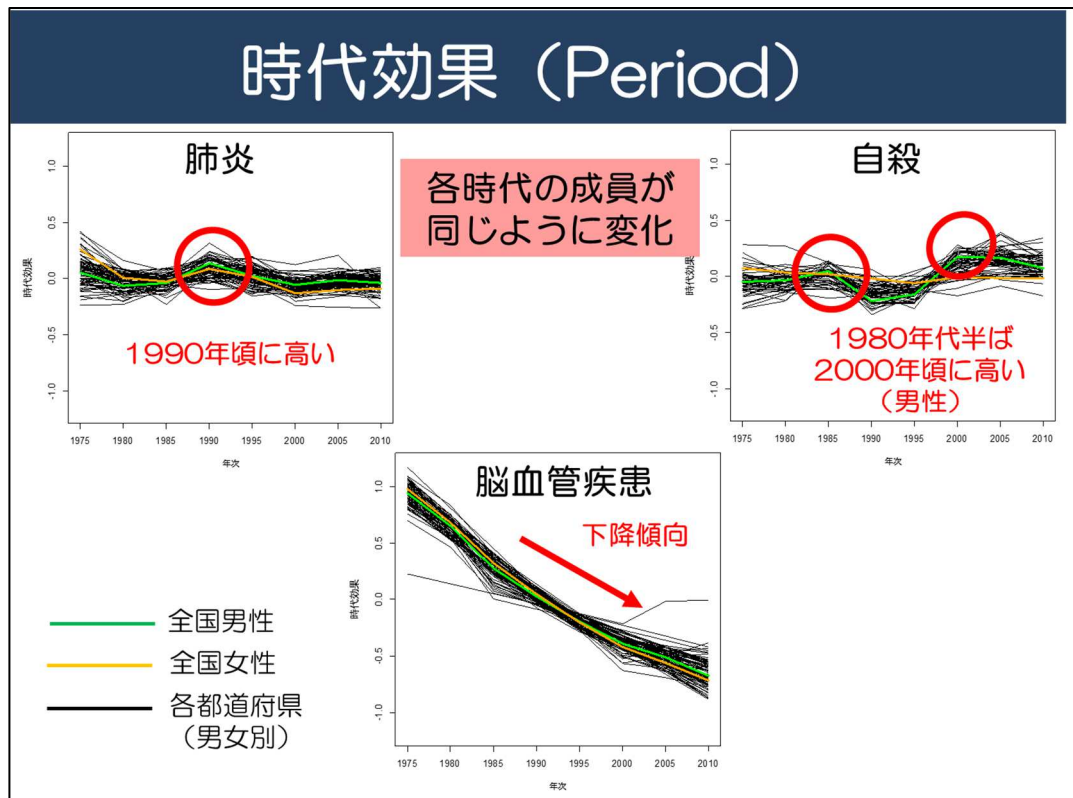
疾病動向は、人々全体に影響が及ぶ時代背景によって変動します。

（例：国民皆保険制度、救急体制の整備、食生活の欧米化、暖房器具の普及など）

一般に、異なる時代（年次）間の変化を比較するときに、年齢構成の違いによる影響を除いた「年齢調整率」が用いられますが、これには世代要因による影響が含まれています。

**\*本サイトでは、他の要因の影響を除いた時代背景のリスク（時代効果）を提示します。**

年齢や世代を問わず、社会全体（各時代を構成するすべての人）が同じ方向に変わっていく部分を捉えているため、集団戦略の成果が反映されていると考えることができます。



## 全国（緑・橙）の結果からわかること

脳血管疾患では、1970年頃からの時代背景（脳卒中対策や環境の変化）が男女の死亡率が下降する方向へ影響を与えたこと、自殺では1980年代半ばと2000年代の時代背景（不景気）が特に男性で自殺率が高くなる影響を与えたことがわかります。肺炎では、1990年頃（抗生物質の多用による耐性菌の出現で問題となった時期と一致）に高くなり、その後（ガイドラインの作成以降）は低下～横ばいを示しています。

## 各都道府県・男女別（黒）の結果からわかること

いずれの死因についても、パターンや変化の大きさにバラツキがみられます。

\*詳しくは、メインページの上のプルダウンリストから選択してください。

都道府県の健康指標  
年齢・時代・世代でみる

都道府県を選択

時代効果を選択

死因を選択

- ① 選択した都道府県における時代効果をみたい・・・「時代効果」へ
- ② 類似の特徴をもつ都道府県を知りたい・・・「地域特性」へ
- ③ 全都道府県でみたバラツキの程度を知りたい・・・「都道府県別格差と性別格差」へ
- ④ ある年のリスクについて全都道府県で比較したい・・・「リスクマップ」へ